



TEC-FORCE (Technical Emergency Control FORCE)

TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)について

国土交通省 水管理・国土保全局

TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の概要

TEC-FORCEとは

※TEC-FORCE(TEchnical Emergency Control FORCE): 緊急災害対策派遣隊

- 大規模自然災害への備えとして、迅速に地方公共団体等への支援が行えるよう、平成20年4月にTEC-FORCEを創設
- TEC-FORCEは、大規模な自然災害等に際して、被災自治体が行う被災状況の迅速な把握、被害の拡大の防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施
- 本省災害対策本部長の指揮命令のもと、全国の各地方整備局等の職員が活動
- 国土交通省各組織の職員合計7,728名(平成27年10月現在)を予め任命

活動内容

➤ 災害対策用ヘリコプターによる被災状況調査



【H27.9 関東・東北豪雨】
(茨城県常総市)



➤ 市町村へのリエゾン派遣



【H27.5 口永良部島の火山活動】
(鹿児島県屋久島町)

➤ 被災状況の把握



【H26.8 広島土砂災害】
(広島県広島市)

➤ Ku-SAT※による監視体制確保



【H26.9 御嶽山の噴火】
(長野県王滝村)

➤ 自治体への技術的助言



【H26.11 長野県北部地震】
(長野県小谷村)

➤ 排水ポンプ車による緊急排水



【H27.9 関東・東北豪雨】
(宮城県栗原市)

➤ 捜索活動への技術的助言

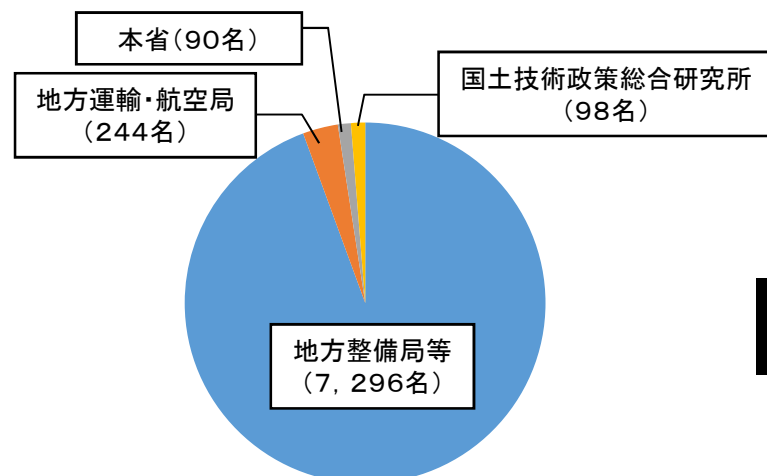


【H25.10 台風第26号】
(東京都大島町)

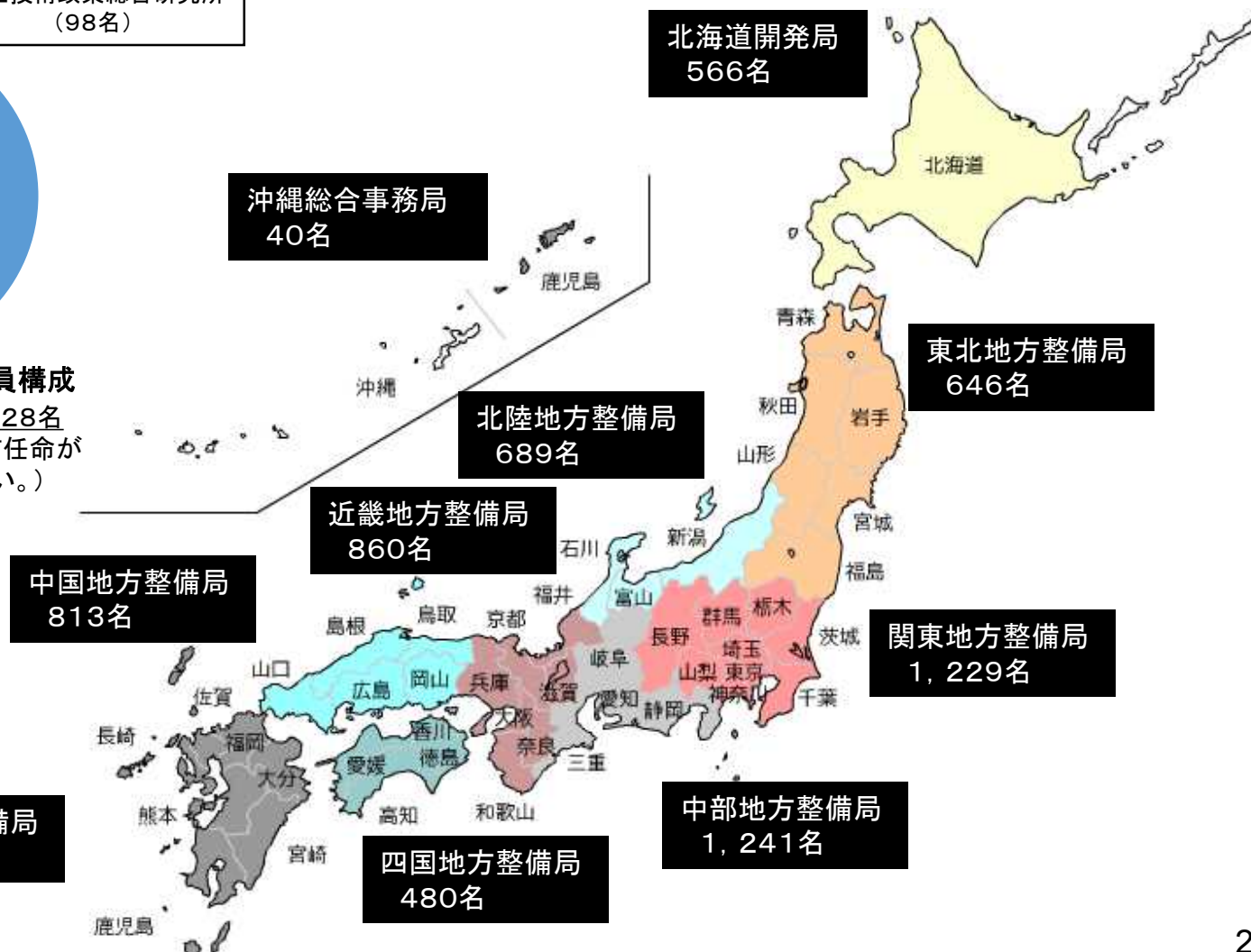
緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の隊員数

TEC-FORCE隊員は全国の地方整備局を主体に任命されており災害の規模によっては全国から集結

※ほか、国土交通省本省、地方運輸局等、国土技術政策総合研究所、気象庁、国土地理院から構成されており、専門性を活かした調査、技術指導等による自治体支援を実施



TEC-FORCE 登録隊員構成
 ※平成27年10月現在 計7,728名
 (国土地理院、気象庁は事前任命がないため、グラフに含まれない。)



国土交通省の災害対策用機材の配備状況

大規模な災害には全国の機材が集結し支援を行います。

▼平成27年4月1日現在

(単位:台)

地整名	排水ポンプ車	照明車	対策本部車 待機支援車	遠隔操作式 バックホウ	衛星通信車	Ku-SAT	災害対策用 ヘリコプター	備 考
北海道	27	15	8	1	4	14	1	
東 北	45	29	10	2	4	19	1	
関 東	41	41	25	2	9	29	1	
北 陸	39	37	11	3	4	20	1	
中 部	36	34	15	2	6	17	1	
近 畿	32	27	17	1	7	21	1	
中 国	33	24	6	1	5	16	1	ヘリは四国・中国 地整とで共同管理
四 国	33	28	11	2	5	8		
九 州	60	24	9	2	4	16	1	
沖 縄	1	3	1	0	1	6	0	
計	347	262	113	16	49	166	8	

■排水ポンプ車



【 H26. 8 広島土砂災害 】
(広島県広島市)

■照明車



【 H26. 8 台風第12号・11号 】
(山口県和木町)

■対策本部車



【 H26. 8 広島土砂災害 】
(広島県広島市)

■衛星通信車



【 H26. 11 長野県北部地震 】
(長野県白馬村)

■Ku-SAT
(小型衛星画像伝送装置)

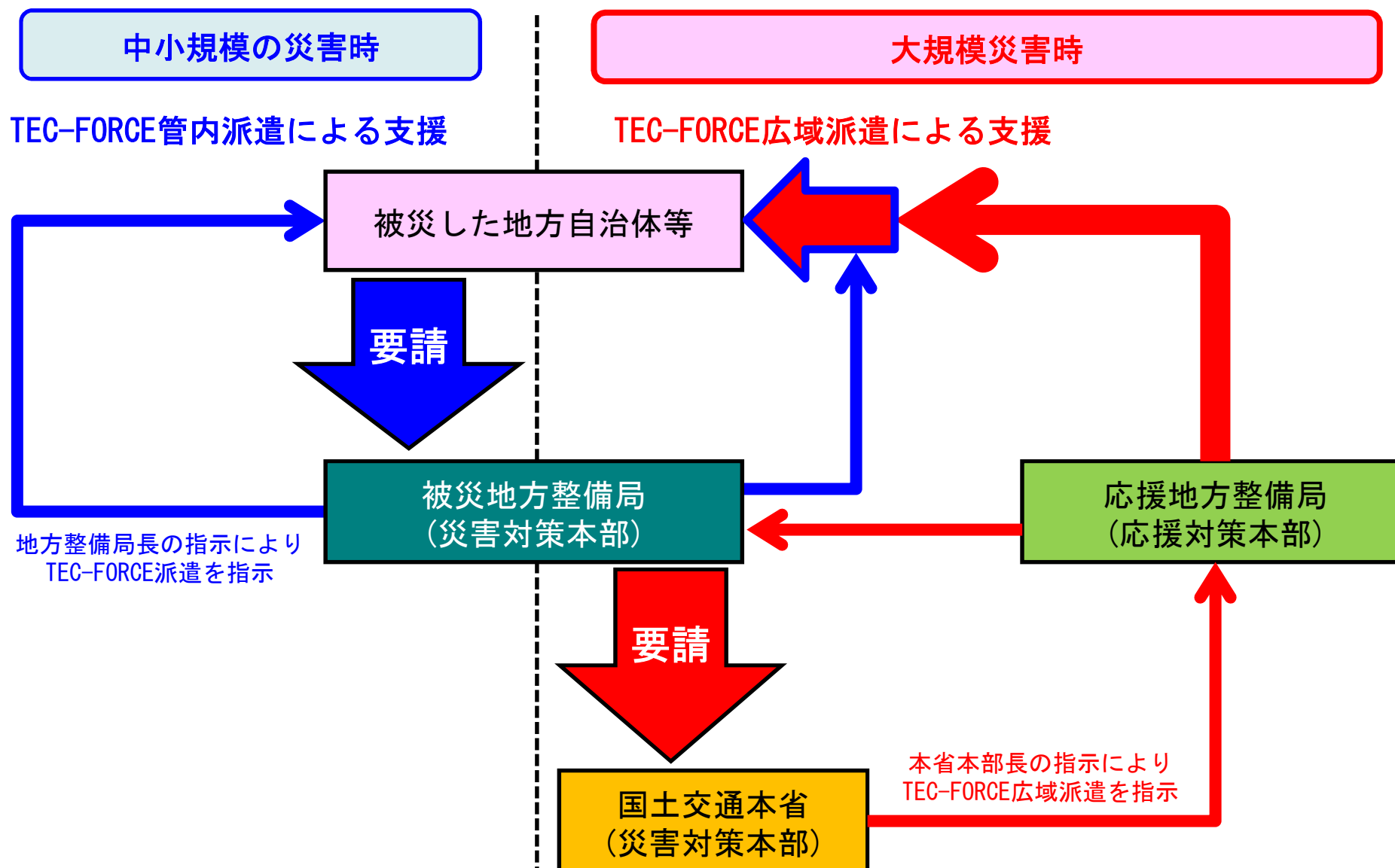


【 H26. 9 御嶽山の噴火 】
(長野県王滝村)

その他の機材

土のう造成機、応急組立橋、散水車、橋梁点検車、側溝清掃車、路面清掃車など

災害規模に応じた支援の仕組み



※災害状況から判断し、要請を待たずに支援する場合があります。

平成23年3月 東日本大震災への派遣

- 平成23年3月に発生した東日本大震災では、国土交通大臣の指示の下、震災発生の翌日には各地方整備局から約400名のTEC-FORCE隊員を現地に派遣。
- 最大500名を超える隊員が、余震が続き、雪の積もる中で排水ポンプ車による排水活動、市町村リエゾンによる自治体支援、道路・堤防の被災状況の把握等を実施。



早急にヘリコプターを発進させ、貴重な映像等入手



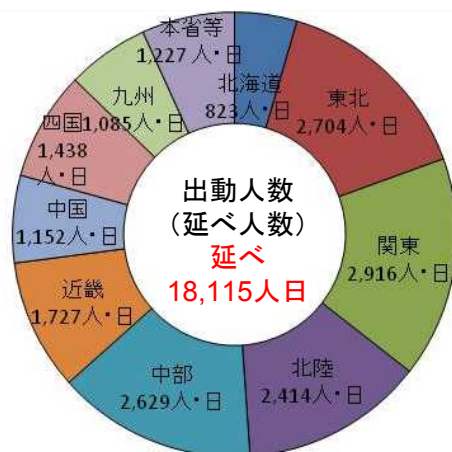
排水ポンプ車による行方不明者捜索活動の支援



市町村長の片腕となる職員を派遣し技術的支援を実施



衛星通信車による途絶した通信回線の確保



堤防被災状況の把握



道路被災状況の把握

- TEC-FORCE: のべ18,115人・日 (3/11~11/21)
- 災害対策用機械 (排水ポンプ車、衛星通信車等) : 発災後1ヶ月間でのべ5,760台・日を派遣

東日本大震災発災後1ヶ月間におけるTEC-FORCEの活動状況

①【発災当日】計62名

- ・市町村等に43名を派遣
- ・ヘリ3機が現地調査
(5機が東日本へ移動)

②【発災翌日】計397名

- ・市町村等に111名派遣(以降継続)
- ・被災状況調査のため247名を派遣
- ・通信確保のため
衛星通信局3台、4名を派遣 等

【全国の地方整備局からの派遣状況】

	出勤数	延べ出勤数
TEC-FORCE隊員	1,742	9,749
ヘリコプタ	8	119
衛星通信車	9	260
可搬式衛星通信局	16	345
排水ポンプ車	93	2,021
照明車	67	1,611
対策本部車等	58	1,523

東北地整の災対本部等の指揮下で活動

③【3日後】計511名【4日後】計521名

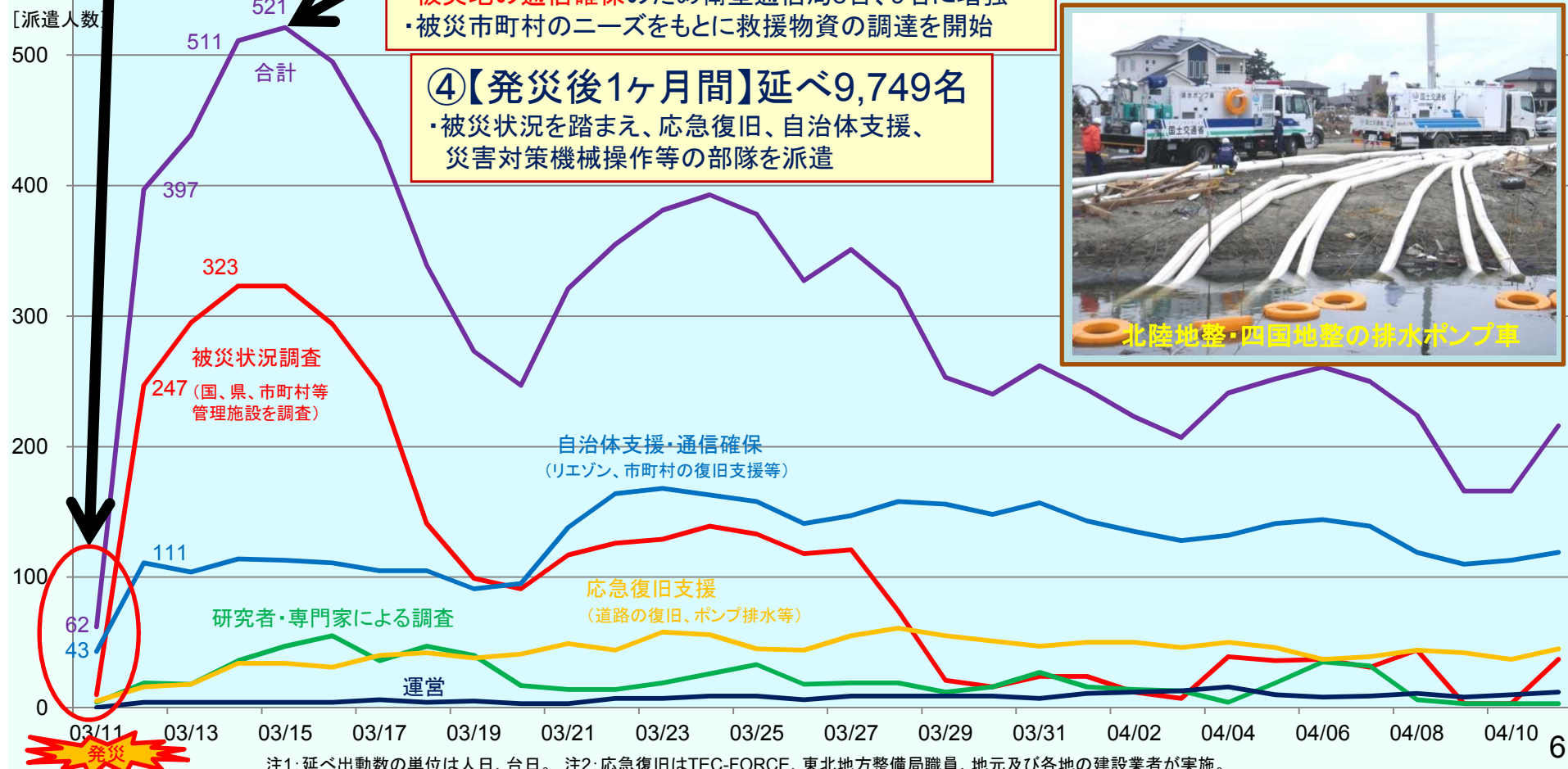
- ・被災状況調査のため323名に派遣を増強
- ・被災地の通信確保のため衛星通信局8台、9名に増強
- ・被災市町村のニーズをもとに救援物資の調達を開始

④【発災後1ヶ月間】延べ9,749名

- ・被災状況を踏まえ、応急復旧、自治体支援、災害対策機械操作等の部隊を派遣

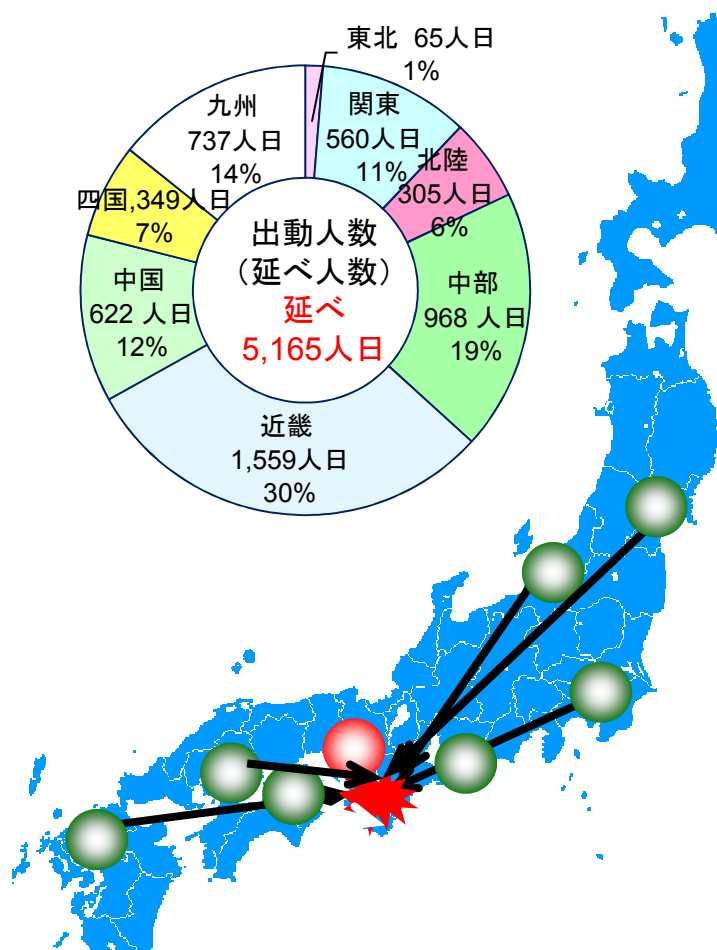


北陸地整・四国地整の排水ポンプ車



平成23年9月 台風第12号災害への派遣

- 国土交通大臣の指示の下、発災直後から緊急災害対策派遣隊（TEG-FORCE）として専門知識を有する職員の派遣や災害対策用資機材の広域運用を開始。
- 発災後ほぼ1ヶ月の間にのべ4,300人・日を超える体制で、被災した三重県、奈良県、和歌山県において、被災状況調査、現地対策本部（自治体）の運営支援、大規模な土砂災害等に対する高度技術支援、応急対策・被害拡大防止（排水ポンプ車等災害対策用機械の設置等）を実施。



ヘリコプターを使った
緊急的な被災状況調査



リエゾンによる要望確認



孤立地域での技術支援等



現地対策本部の運営支援



被災状況調査



マスコミ対応

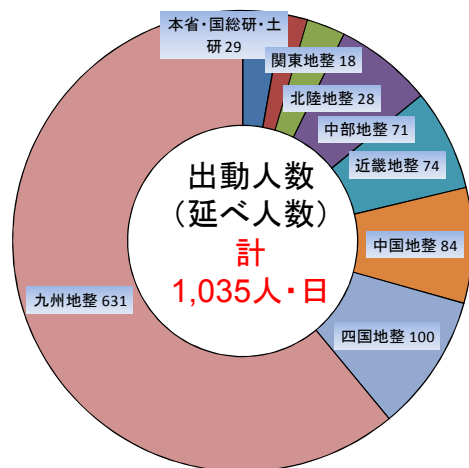


平成24年7月 九州北部豪雨災害への派遣

○全国の地方整備局等からTEC-FORCEと災害対策用機械等を派遣し、二次災害の防止や早期復旧のための技術支援等を実施。

➢TEC-FORCE：最大150人派遣(7月15日)、のべ1,035人・日派遣(7/12～8/10)

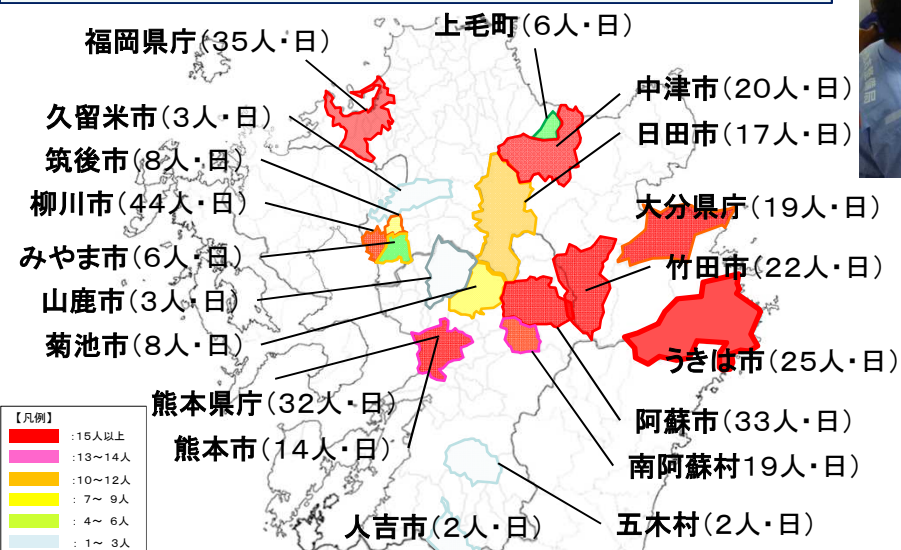
➢災害対策用機械(照明車、衛星通信車等)：最大121台派遣(7/15)、のべ1,222台・日派遣(7/3～8/10)



今後の警戒避難体制等に関する
地元自治体への技術指導状況



リエゾンの派遣状況



行方不明者の捜索のための
自衛隊・警察等への技術指導状況



衛星通信車による
沖端川復旧状況の中継



平成25年7月 山口・島根豪雨災害への派遣

○全国の地方整備局等からTEC-FORCEと災害対策用機械等を派遣し、二次災害の防止や早期復旧のための技術支援等を実施。

➢ TEC-FORCE：最大205人派遣(8月5日)、のべ2,011人・日派遣(7/29～8/24)

➢ 災害対策用機械(照明車、衛星通信車等)：最大15台派遣(7/29、8/5)、のべ148台・日派遣(7/28～8/27)

防災ヘリコプターによる
(緊急)被害状況の把握

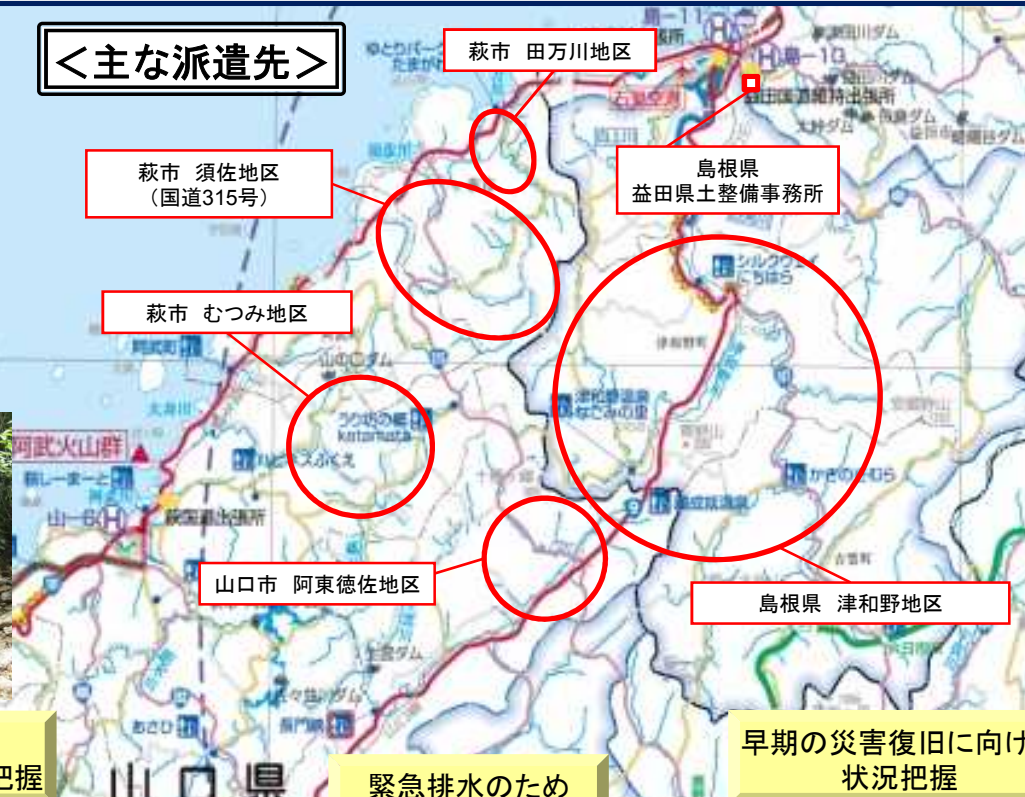


土砂災害の
状況把握に向かう隊員



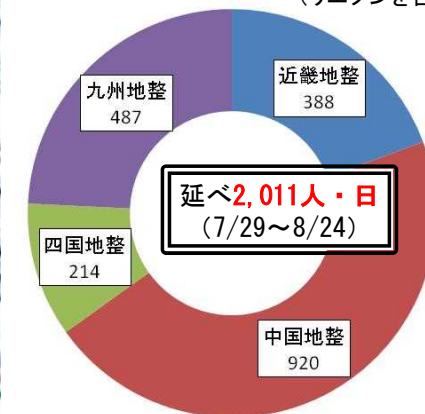
山口県萩市須佐(神田川)

<主な派遣先>



<TEC-FORCE派遣者数>

(リエゾンを含む)



西日本の地方整備局4地整より派遣。
また、8/5より国総研から2人・日派遣。

リエゾン派遣
被災情報・支援ニーズ等の把握



山口県庁

緊急排水のため
排水ポンプ車の出動



高津川派川南田川水門

早期の災害復旧に向けた
状況把握



日社川：山口県萩市須佐

孤立集落解消に向けた
土砂撤去



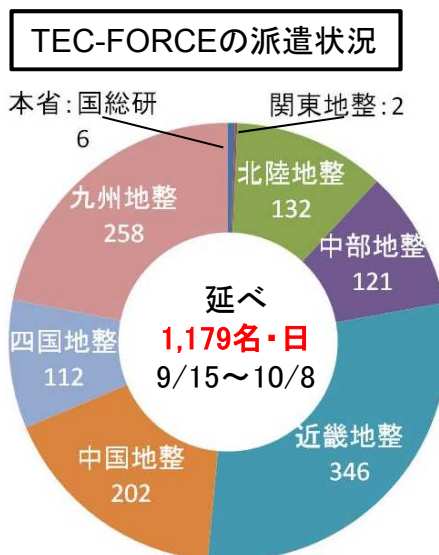
国道315号

平成25年9月 台風第18号等(京都府・福井県・滋賀県)への派遣

○全国の地方整備局等からTEC-FORCEと災害対策用機械等を派遣し、二次災害の防止や早期復旧のための技術支援等を実施。

➤TEC-FORCE：最大157人派遣(9月20日)、のべ1,179人・日派遣(9/15～10/8)

➤災害対策用機械(排水ポンプ車、照明車等)：最大33台派遣(9/16)、のべ264台・日派遣(9/16～10/7)



《主な派遣先》

状況把握箇所

平成25年10月 台風第26号(大島町)への派遣

○全国の地方整備局等からTEC-FORCEと災害対策用機械等を派遣し、二次災害の防止や早期復旧のための技術支援等を実施。

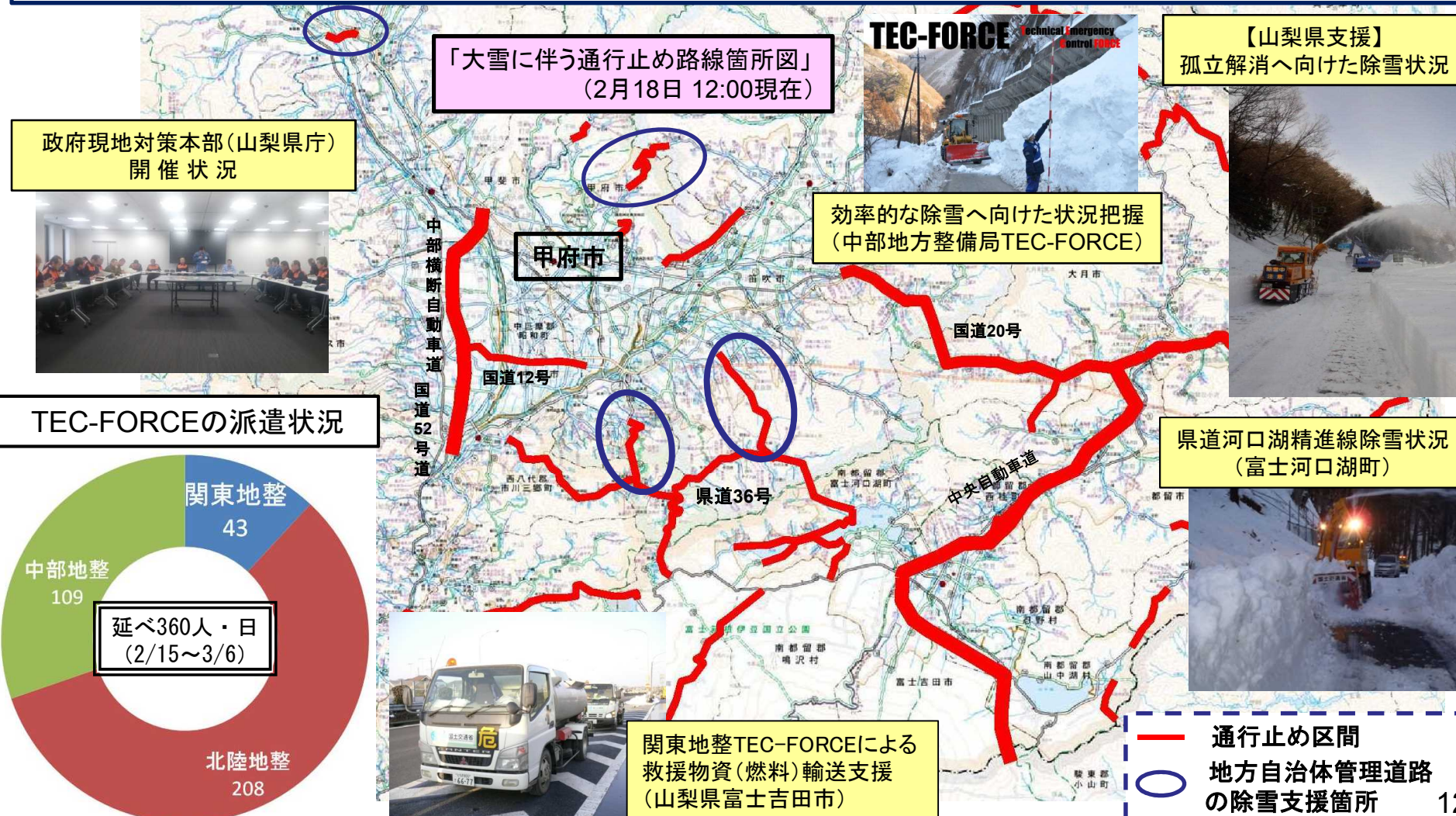
- TEC-FORCE：最大87人派遣(10月18日)、のべ1,265人・日派遣(10/16~11/15)
- 災害対策用機械(照明車、衛星通信車等)：最大17台派遣(10/22~11/3)
のべ443台・日派遣(10/16~11/14)



平成26年2月 豪雪(山梨県・群馬県・埼玉県等)への派遣

○高度な除排雪技術を有する北陸・中部地方整備局等から特に被害の大きかった山梨県や群馬県及び埼玉県等へ TEC-FORCE及び除雪用機械を派遣し、早期の道路交通確保や雪崩等による二次災害防止のための技術支援等を実施。

- TEC-FORCE: 最大40人派遣(2/25)、のべ360人・日派遣(2/15~3/6)
- 除雪用機械(ロータリー除雪車、除雪ドーザ等): 最大27台派遣(2/20)、のべ227台・日派遣(2/16~3/13)



平成26年8月広島土砂災害への派遣

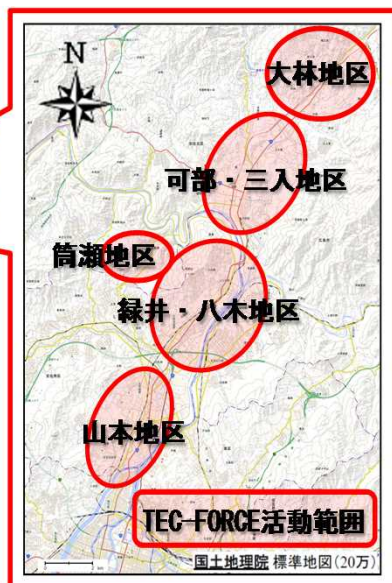
○8月19日からの大雨を受けて、広島市では166件の土砂災害（土石流107件、がけ崩れ59件）が発生し、多数の住宅が飲み込まれる甚大な被害（死者76名：平成27年12月16日17時30分現在）が発生。

○災害発生直後から、広島県及び広島市ヘリエゾンを派遣。また、災対ヘリによる被害状況把握を実施。

○全国の地方整備局等からTEC-FORCEと災害対策用機械等を派遣し、(1)土砂災害危険箇所の評価・搜索活動の支援、(2)早期復旧のための支援、(3)二次災害防止のための支援を実施。

➤ TEC-FORCE：最大140人派遣（8月28日）、のべ2,523人・日派遣（8/20～9/23）

➤ 災害対策用機械（照明車、衛星通信車等）：最大18台派遣（9月4～5日）、のべ約590台・日派遣（8/20～10/30現在）



安佐南区と安佐北区の被災状況



約2週間で324渓流を緊急点検し危険度を評価

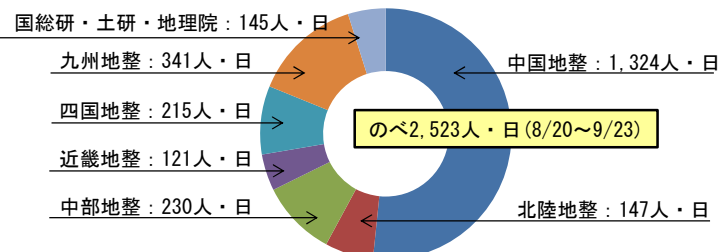


搜索活動の安全確保のための点検



市道等に堆積した土砂を約1ヶ月で撤去

▼派遣元別派遣人数（のべ人数）

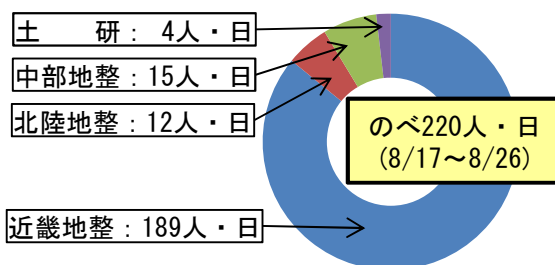


平成26年8月豪雨災害(丹波・福知山)への派遣

- 前線の停滞により、16日から17日朝にかけて局地的に記録的な大雨が降り、京都府では約7,000棟の家屋、兵庫県では約1,200棟の家屋に、全壊・半壊、浸水などの甚大な被害が発生。
- 京都府福知山市では、発災当日から (1) リエゾンによる連絡調整 のほか、近畿地方整備局からTEC-FORCEと排水ポンプ車を派遣し、(2) 緊急排水、(3) 被災状況調査 (河川、道路)、(4) 河道閉塞の復旧工法に関する技術的助言、浸水により運転停止となった (5) 下水処理施設の排水支援 を実施。
- 兵庫県丹波市では、発災当日から (1) リエゾンによる連絡調整 のほか、近畿地方整備局をはじめ北陸・中部地方整備局からTEC-FORCEを派遣し、(2) 被災状況調査 (土砂災害) を実施。
 - TEC-FORCE：のべ220人・日派遣(8月17日～8月26日)



▼近畿地方への派遣人数(のべ人数)



京都府福知山市の状況



京都府福知山市の浸水状況



河川施設の被災状況調査



下水処理施設の排水支援



福知山市長へ調査報告書を手交

兵庫県丹波市の状況



被災箇所調査(土砂災害)



丹波市長へ調査報告書を手交

平成26年8月豪雨災害(礼文島)への派遣

- 23日から24日にかけて、道北地方を中心に激しい雨が降り、礼文島では1時間降水量41.0mm、24時間降水量183.0mmを観測するなど、50年に一度の大雨となった。これにより礼文島では、17棟の家屋被害が発生。
- 発災直後から、(1)リエゾンによる北海道及び礼文町等(1道6市町)との連絡調整を実施。
- 災害対策用ヘリコプターによる、(2)上空からの被災状況調査を実施。
- 北海道開発局からTEC-FORCEを派遣し、(3)被災状況調査、(4)被災箇所の監視支援を実施。
 - TEC-FORCE：のべ83人・日派遣(8月24日～9月1日)



上空からの被災状況調査



土砂災害により全壊した住宅



土砂災害による道道の途絶

被災箇所の監視支援



小型画像伝送装置(Ku-sat)による被災箇所のリアルタイム配信

現地踏査による被災状況調査



入船川の被災状況調査



被災した町道の状況調査

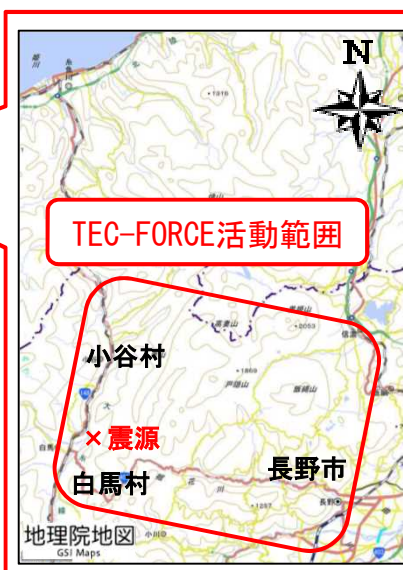
調査結果の報告



礼文町長への調査結果報告

平成26年11月 長野県北部地震への派遣

- 11月22日22時8分頃、長野県北部を震源に発生した地震（最大震度6弱）により、多数の家屋被害（全壊77棟、半壊136棟、一部破損1,624棟）が発生。
- 災害発生直後から、長野県及び長野市、白馬村、小谷村等にリエゾンを派遣。また、災害対策用ヘリコプターによる上空からの被害状況調査を実施。
- 関東地方整備局及び北陸地方整備局からTEC-FORCEと災害対策用機械等を派遣し、(1)被災箇所の状況把握、(2)早期復旧のための支援、(3)被災箇所の監視支援を実施。
 - TEC-FORCE：最大77人派遣（11月27日）、のべ589人・日派遣（11/22～12/10）
 - 災害対策用機械（照明車、衛星通信車等）：最大20台派遣（11月24～25日）、のべ216台・日派遣（8/23～12/16）



被災箇所の状況把握



小谷村長に調査結果を手交



監視カメラによる
被災箇所の監視支援



照明車による
被災箇所の監視支援

▼派遣元別派遣人数（のべ人数）

国総研・土研・地理院：7人・日

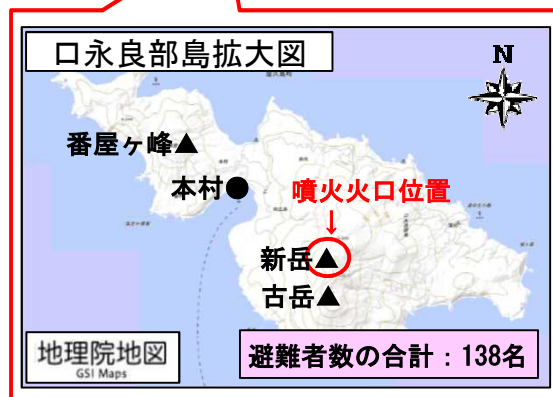
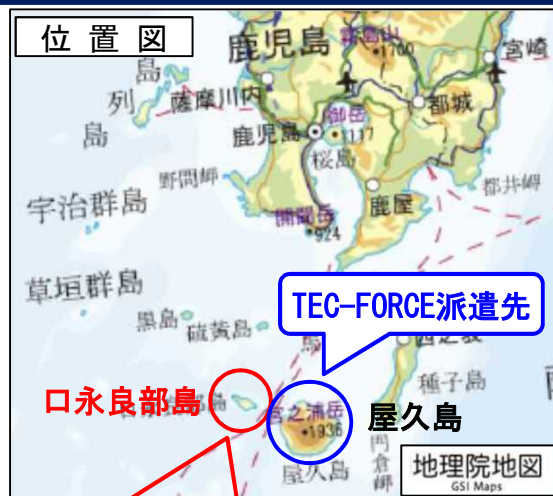
北陸地整：289人・日

関東地整：293人・日

のべ589人・日（11/22～12/10）

平成27年5月 口永良部島噴火への派遣

- 5月29日9時59分、新岳において爆発的な噴火が発生し、噴煙が火口上9,000m以上まで上がった。また、火砕流が発生し、新岳火口の南西側から北西側（向江浜地区）方向の海岸まで達した。
- 噴火発生直後から、鹿児島県及び屋久島町にリエゾンを派遣し連絡調整を実施。
- また、災害対策用ヘリコプターによる、(1) 降灰状況及び土石流発生状況の調査のほか、(2) 火口周辺の監視を噴火当日から実施。
- 九州地方整備局からTEC-FORCEと災害対策用機械等を派遣し、(3) 小型画像伝送装置により屋久島町役場にリアルタイム映像配信するとともに、録画映像や写真を屋久島町を通じて避難者の方々に提供。
 - TEC-FORCE：のべ370人・日派遣（5月29日～7月24日）



災対ヘリによる降灰等の状況調査
5月29日 16時頃撮影



一時入島に向けた
自衛隊との事前調整



一時入島の状況を
関係機関で監視



小型画像伝送装置 (Ku-sat)
の設置



屋久島中継所に
監視カメラを設置



住民の方々に
これまでの調査結果を説明

平成27年9月関東・東北豪雨(関東地方)への派遣

- 平成27年9月関東・東北豪雨により、利根川水系鬼怒川において堤防決壊や越水等が発生し、茨城県常総市では、市の面積の1/3にあたる約40km²が浸水し、約6,000棟の家屋に全壊・半壊、浸水等の甚大な被害が発生。
- 鬼怒川では、降雨や河川水位の状況より甚大な被害が予測されたことから、発災当日には北陸・中部・近畿地方整備局からTEC-FORCEの先遣隊が関東地方整備局に参集するとともに、発災前より排水ポンプ車の集結を開始し、堤防が決壊した当日には排水活動に着手。
- さらに、中国・四国・九州地方整備局の排水ポンプ車を加えた最大51台により24時間体制で排水活動を行い、10日間で浸水を概ね解消。
- 全国の地方整備局等からTEC-FORCEと排水ポンプ車等を派遣し、(1)緊急排水活動、(2)被災状況調査（河川、道路、土砂災害）、(3)排水活動のための道路啓開、(4)排水路等の土砂撤去、(5)リエゾンによる茨城県及び栃木県等（2県23市町）との連絡調整を実施。

▶ TEC-FORCE：のべ2,337人・日派遣(9月9日～1月15日)



茨城県常総市の浸水状況

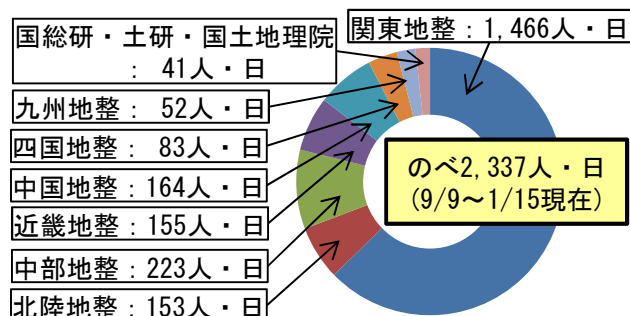


全国から集結した災害対策用機械



24時間体制による緊急排水活動

▼関東地方への派遣人数(のべ人数)



河川施設の被災状況調査



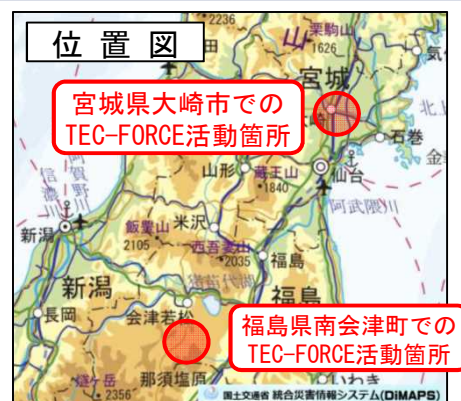
土石流箇所の被災状況調査
(栃木県日光市)



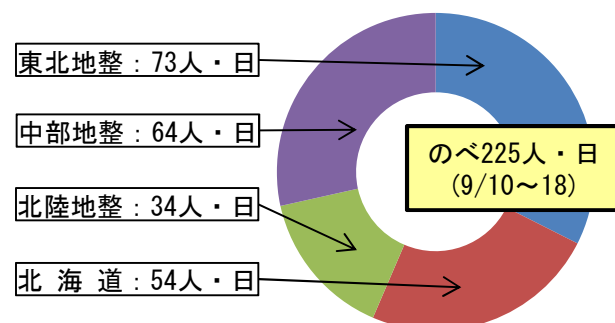
道路啓開による放置車両撤去

平成27年9月関東・東北豪雨(東北地方)への派遣

- 平成27年9月関東・東北豪雨により、鳴瀬川水系渋井川において堤防が決壊し、宮城県大崎市では約700棟の家屋に半壊・一部損壊、浸水など甚大な被害が発生。
- 発災当日には北陸・中部・近畿地方整備局からTEC-FORCEの先遣隊が東北地方整備局に参集するとともに、東北地方整備局をはじめ北陸・中部地方整備局、北海道開発局から、大崎市をはじめ宮城県内に排水ポンプ車(最大16台)を派遣し、24時間体制で排水活動を行い、**5日間で浸水を解消**。
- 排水活動により概ね1日で浸水が解消された大崎市では、首長から感謝の言葉をいただくとともに、**浸水時間が軽減された田圃から一等米(等級検査)が収穫**。
- 全国の地方整備局等からTEC-FORCEと排水ポンプ車等を派遣し、**(1)緊急排水活動、(2)リエゾンによる宮城県及び福島県等(1県8市町)との連絡調整**を実施。
 - TEC-FORCE：のべ225人・日派遣(9月10日～9月18日)



▼東北地方への派遣人数(のべ人数)



渋井川(宮城県)の状況



上空からの被災状況調査



広域支援による緊急排水



緊急排水完了を県・市へ報告



大崎市長に活動完了を報告

南会津町(福島県)の状況



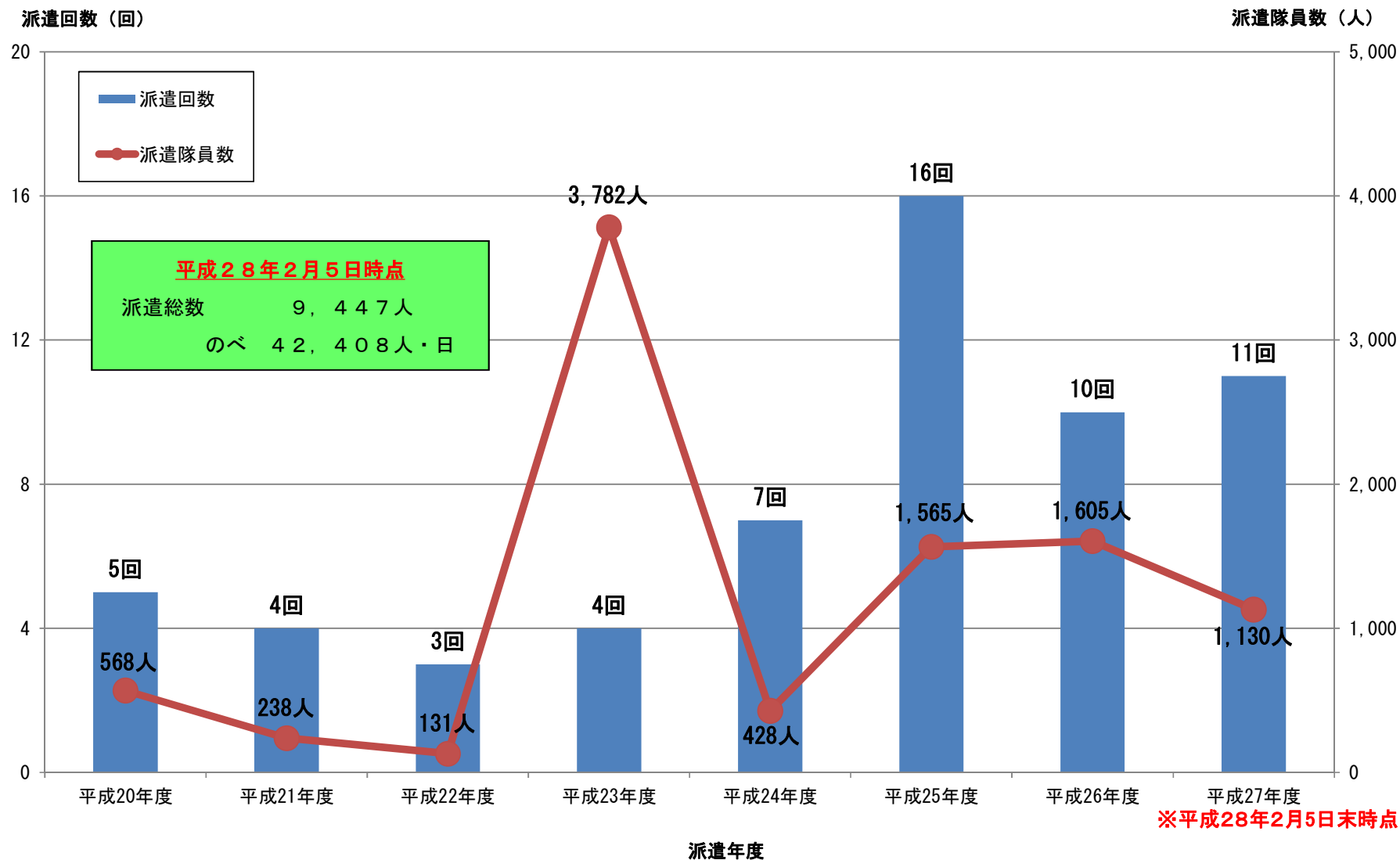
災害対策会議への出席



町職員と合同での被災状況調査

TEC－FORCEの派遣実績

○TEC－FORCEは平成20年度発足以来、平成28年2月5日までに東日本大震災をはじめ60の災害に対し、のべ4万人・日を超える地方整備局などの職員により被災地支援を実施。



TEC—FORCEの派遣実績(H20～H23)

➤ 平成20年度派遣総数 568人 のべ 1, 894人・日

	H20_6_岩手宮城 内陸地震	H20_7_岩手沿岸 北部地震	H20_7_28の大雨 (石川・富山県)	H20_8_末豪雨 (愛知県)	H20_9_2~3の大雨 (岐阜県)
派遣隊員数(人)	408	147	5	5	3
派遣隊員の活動員数 (のべ 人・日)	1, 499	381	6	5	3

➤ 平成21年度派遣総数 238人 のべ 1, 248人・日

	H21_7_6~7の大雨 (和歌山県)	H21_7_中国・九州北部豪雨 (山口・福岡・佐賀・長崎県)	H21_8_駿河湾沖を 震源とする地震	H21_台風第9号 (兵庫・岡山)
派遣隊員数(人)	4	119	92	23
派遣隊員の活動員数 (のべ 人・日)	4	954	249	41

➤ 平成22年度派遣総数 131人 のべ 449人・日

	H22_7_16の大雨 (広島県)	H22_台風第9号 (静岡県)	H22_10_奄美地方の大雨 (鹿児島県)
派遣隊員数(人)	22(6)	35(0)	74(9)
派遣隊員の活動員数 (のべ 人・日)	69(8)	81(0)	299(15)

➤ 平成23年度派遣総数 3, 782人 のべ 23, 648人・日

	H23_3_11 東日本大震災	H23_7_新潟・福島 豪雨(新潟・福島県)	H23_台風第12号 (奈良、和歌山、三重)	H24_3_上越市 板倉地区地すべり
派遣隊員数(人)	2, 882(1, 836)	131(38)	732(410)	37(0)
派遣隊員の活動員数 (のべ 人・日)	18, 115(12, 898)	262(107)	5, 185(2, 872)	86(0)

※()内の数値は内書きで、被災地方整備局以外からの派遣者数を表します。

TEC—FORCEの派遣実績(H24～ H25)

➤ 平成24年度派遣総数 428人 のべ 1, 307人・日

	H24.4.糸魚川市 地すべり	H24.4.三条市 地すべり	H24.5.低気圧 (茨城県)	H24.6.の台風第4号 (宮城・三重・奈良・ 和歌山県)	H24.6末 梅雨前線 (鹿児島県)	H24.7.九州北部豪雨 (福岡、大分、熊本県)	H24.8.前線 (京都府、滋賀県)
派遣隊員数(人)	5(0)	4(0)	20(0)	18(0)	19(0)	326(85)	36(0)
派遣隊員の活動員数 (のべ 人・日)	6(0)	4(0)	34(0)	20(0)	64(0)	1, 035(404)	144(0)

➤ 平成25年度派遣総数 1, 565人 のべ 6, 137人・日

	H25.4.13 淡路島地震	H25.4.17 三宅島近海地震	H25.4.23 浜松市 地すべり	H25.7.6 福岡県岡垣町 町道法面崩壊	H25.7.18～ 静岡県 西伊豆町豪雨	H25.7.27～ 宮城県栗原市	H25.7.28～ 山口県 島根県
派遣隊員数(人)	14(3)	7(0)	65(0)	2(0)	39(0)	9(0)	358(182)
派遣隊員の活動員数 (のべ 人・日)	14(3)	7(0)	89(0)	2(0)	53(0)	11(0)	2, 011(1, 091)

	H25.8.9～ 岩手県 秋田県	H25.8.23～ 島根県	台風第18号 大阪、京都、奈良等	H25.10.21 台風第26号 東京都大島町など	H25.10.24 台風第27号 大分、愛媛、徳島、京都、静岡、など
派遣隊員数(人)	54(0)	150(36)	277(146)	329(129)	26(0)
派遣隊員の活動員数 (のべ 人・日)	66(0)	808(245)	1, 237(832)	1,309(669)	27(0)

	H25.11.07 秋田市突風	H25.11.21～25 秋田県由利本荘市道路工事事故	H26.1.26～29 北海道福島町道道土砂崩れ	H26.01.26～ 北海道・東北・関東甲信越等雪害
派遣隊員数(人)	4(0)	40(0)	16(0)	175(79)
派遣隊員の活動員数 (のべ 人・日)	5(0)	55(0)	16(0)	427(280)

※()内の数値は内書きで、被災地方整備局以外からの派遣者数を表します。

TEC—FORCEの派遣実績(H26～H27.10末時点)

➤ 平成26年度派遣総数 1, 605人 のべ4, 497人・日

	H26_6前線等 高知県 宮崎県	台風第8号及び 梅雨前線 長野県南木曽町など	台風第12号及び 第11号の大雨等	平成26年8月豪雨	
				北海道礼文町、京都府福知山、 兵庫県丹波市、岐阜県高山市など	広島土砂災害
派遣隊員数(人)	10(0)	137(0)	313(2)	158(9)	424(188)
派遣隊員の活動員数 (のべ 人・日)	19(0)	187(0)	356(2)	378(27)	2, 523(1, 199)

	御嶽山の噴火	台風第18号	台風第19号	長野県北部を 震源とする地震	H26_12.5～ 徳島県雪害
派遣隊員数(人)	179(0)	44(0)	62(0)	242(0)	36(0)
派遣隊員の活動員数 (のべ 人・日)	274(0)	49(0)	88(0)	589(0)	34(0)

➤ 平成27年度派遣総数 1, 130人 のべ3, 228人・日 (※平成28年2月5日時点)

	北海道羅臼町 土砂崩落 (海岸隆起)	口永良部島の 火山活動	6月24日から続く 梅雨前線	H27_7 大分県南部を 震源とする地震	台風第11号による 大雨等	台風第15号及び16号 による大雨等
派遣隊員数(人)	4(0)	92(0)	15(0)	2(0)	65(0)	59(0)
派遣隊員の活動員数 (のべ 人・日)	4(0)	370(0)	48(0)	2(0)	83(0)	74(0)

	平成27年9月 関東・東北豪雨	台風第12号	台風第23号	1月23日からの 大雪等	京都府宮津市 河道閉塞
派遣隊員数(人)	826(218)	3(0)	17(0)	44(0)	3(0)
派遣隊員の活動員数 (のべ 人・日)	2, 587(1, 013)	3(0)	19(0)	35(0)	3(0)

※()内の数値は内書きで、被災地方整備局以外からの派遣者数を表します。